

2019年5月10日

大塚製薬工場、鳴門市(徳島県)と「健康で安心して暮らせるための地域づくりに関する包括連携協定」を締結

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一)は、鳴門市と「健康で安心して暮らせるための地域づくりに関する包括連携協定(以下、『本協定』)」を、5月9日に締結しましたのでお知らせいたします。



鳴門市役所で行われた協定締結式

写真左から: 泉 理彦 鳴門市長

藤原 克之 (株)大塚製薬工場 取締役 総務・コンプライアンス・知財法務担当

本協定は、大塚製薬工場と鳴門市が緊密な相互連携のもと、以下の活動を推進することにより、鳴門市民の皆さまの健康づくりの推進と地域医療を守り育む活動に寄与するとともに、地域包括ケアシステムの構築ならびに地域共生社会の実現に貢献することを目的にしています。

- (1) 栄養、食支援(フレイル^{※1}・低栄養・摂食嚥下・口腔ケア等)、排泄ケアに関すること
- (2) かくれ脱水^{※2}の啓発に関すること
- (3) 災害に強いまちづくりに向けた地域づくりの協働に関すること
- (4) 地域包括ケアシステムおよび在宅医療の推進に資すること
- (5) 市民協働推進による互助が活きるコミュニティづくりに関すること

大塚製薬工場は、輸液のリーディングカンパニーとして、予防から病院医療、リハビリ、そして在宅医療・介護にわたる臨床栄養製品を中心とした製品ラインアップと、きめ細やかな情報伝達を通じて、医療に貢献してきました。超高齢社会において大塚製薬工場の取り組むべき方向性として、その専門性を生かし、地域包括ケアシステムの構築と運用に寄与すべく、自治体と連携してより一層の地域貢献を推進してまいります。

また、大塚グループの創業の地であり、大塚製薬工場の本社所在地でもある鳴門市においては、大塚製薬工場と鳴門市の周辺自治会の連携による防災に向けた「共助」の取り組みが、内閣府発行の平成28年度版防災白書で紹介されるなど、先進的な地域貢献活動も行っており、本協定締結を機に、災害に強いまちづくりへの協力も一層強化していきたいと考えております。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 フレイルとは、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指し、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味します。

※2 脱水症の一步手前で症状が出ていない脱水状態を指します。

会社概要

株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969年10月7日(創立 1921年9月1日)
資 本 金 : 8,000万円
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115
従 業 員 数 : 2,266名 (2018年12月31日現在)
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売
および輸出入
U R L : <https://www.otsukakj.jp/>